

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○			○				

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社ストック	本社所在地	東京都
業種	卸売業、小売業	総従業員数	17名
事業概要	子ども用家具の輸入販売等		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規程
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	全社員
実施者数	17名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2019年6月より、働き方改革の一環としてワークライフバランスの向上や通勤・移動時間の削減を目的に、テレワークのトライアルを実施
- 2019年7月オフィス移転に伴い、基幹業務以外の固定席を廃止しテレワークトライアル人員の拡大
- 2020年4月緊急事態宣言の発出に伴い、テレワーク規程を制定。全社でのフルリモートワークを実現

## テレワークの概要・特徴

- テレワークを導入することで、個々のワークライフバランスを促進し、また仕事と育児、介護等、家庭の両立を促進することを目的とする。
- 在宅勤務、モバイルワークの2種類とし、在宅勤務は労働時間の全部または一部について、社員の自宅及び自宅に準ずる場所において行う情報通信機器を利用した勤務。モバイルワークは労働時間の全部または一部について、合理的な理由を有する場合のカフェやシェアオフィス、電車移動中などで行う情報通信機器を利用した勤務。
- 勤怠はWebシステムを利用し、報告する。
- 社内連絡、社内外との会議については、Microsoft Teamsを利用して行う。
- 社内の経費精算等各種申請についてもペーパーレスとし、システムを導入。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 通勤時間がなくなったことにより、有効に使える時間が増え、作業効率も上がり生産性が増した。
- ペーパーレス化が促進され、社内保管書類が格段に減り、収納スペースを有効に使えるようになった。
- 家族とふれあう時間が増えたり、自分の時間を作ることができたり、心身ともに充実した生活を送れるようになった。